

●●● 日本の寄付の現状 ●●●

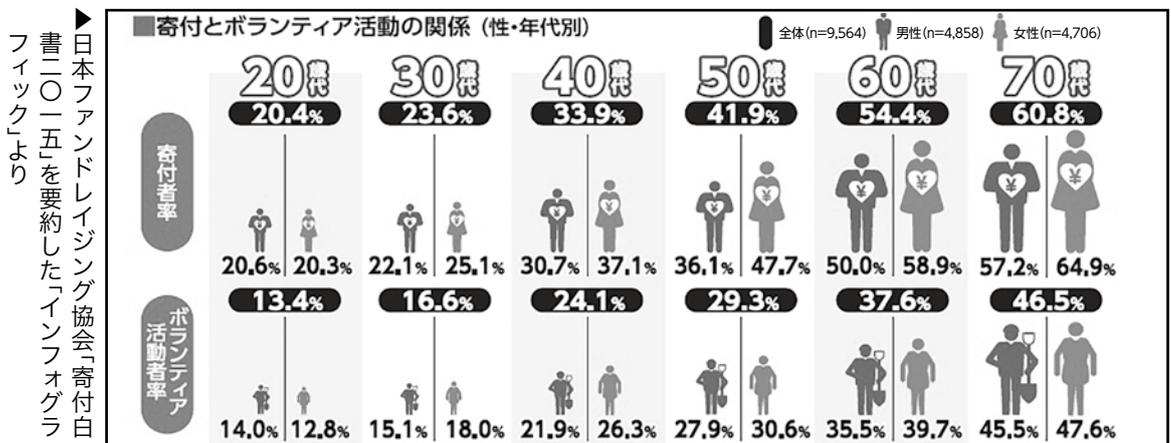
日本ファンドレイジング協会発行の「寄付白書二〇一五」によると、日本で寄付する人は増えてきています。

二〇一〇年 三十三・七%、
二〇一一年 東日本大震災
七十六・四%、
二〇一四年 四十三・六%
個人寄付総額…七、四〇九億円
法人寄付総額…六、九八六億円

また、年代別にみると年齢が高くなるにつれ寄付者の率が高くなっています。ボランティアの活動者も傾向は同じです。

寄付者が寄付先を選ぶときに一番重視しているのは、「寄付金の使い道が明瞭で、有効に使ってもらえること」なのです。

寄付してくれる皆さんの想いを受けて、寄付を頂いた団体は、しっかりと「ありがとう！」の感謝の言葉と共に、利用者から届いた嬉しい声やいい結果が出た成果などを伝えると、きっと寄付してよかったです！という気持ちになることでしょう。十二月は寄付月間。



▶日本ファンドレイジング協会「寄付白書二〇一五」を要約した「インフォグラフィック」より

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。

Giving
December
寄付月間 2016

一年の終わりに、
考えたいのは未来のこと。
もっと楽しい未来。
もっと優しい未来。
もっと平和な未来。
もっと多様性が認められる未来。
そんな未来を手にするために、
あなたの気持ちを寄付にしよう。
寄付は意思、寄付は投資、
寄付は応援、寄付は願い。
寄付で未来は変えられるのです。
だから、「Giving December」。
一年の終わりに、
未来を考え寄付をする。
そんな習慣を、
はじめたいと思います。
欲しい未来を叶えてくれる
さまざまな取り組みに、
あなたの想いを託しましょう。
さあ、年の終わりに、
新しい「寄付」がはじまります。